

4240

千八百七十九年七月十二日刊行東京夕丹ムス新聞抄譯
歲出入豫算ノ説



114
A1301

六十年
六月三十日



出入豫算ノ事

余等前日東京タイムニ於テ本月一日ヨリ一千八百
七十九年六月三十日ニ亘ル年度ノ歳出入豫算表ヲ大藏卿ノ
報告ヲ掲出セリ蓋シ此ノ豫算表ノ体裁ハ殆ど前年度ト同様ニ
シテ唯僅カニ増減改正アルノミ然ル所以ノモノハ今年度ノ豫
算ハ曾テ歐洲ノ簿記法ヲ採用セシヨリ該洲豫算表ノ体裁ニ頼
リ大藏省ニ於テ編成セルモノナレバナリ從來ノ豫算表ノ其奈
布アルカ毎トニ大概皆テ當国居留外國新聞記者ノ為ニ是々シ
キ不當有害ノ批評ヲ被ムラガルハナカリキ然リト云ハ日本國
ノ財政ハ常ニ其歩ヲ止ムルヲナリ駁々乎トシテ前路ニ向テ進
行シ制度序ヲ逐テ整調シ意ニ今日ニ至テ其真影實際ニ現ハレ
日本國ノ信憑ヲ世界ニ博スルニ至リタリ此ノ如キノ今日ト云

大正
四月
贈月

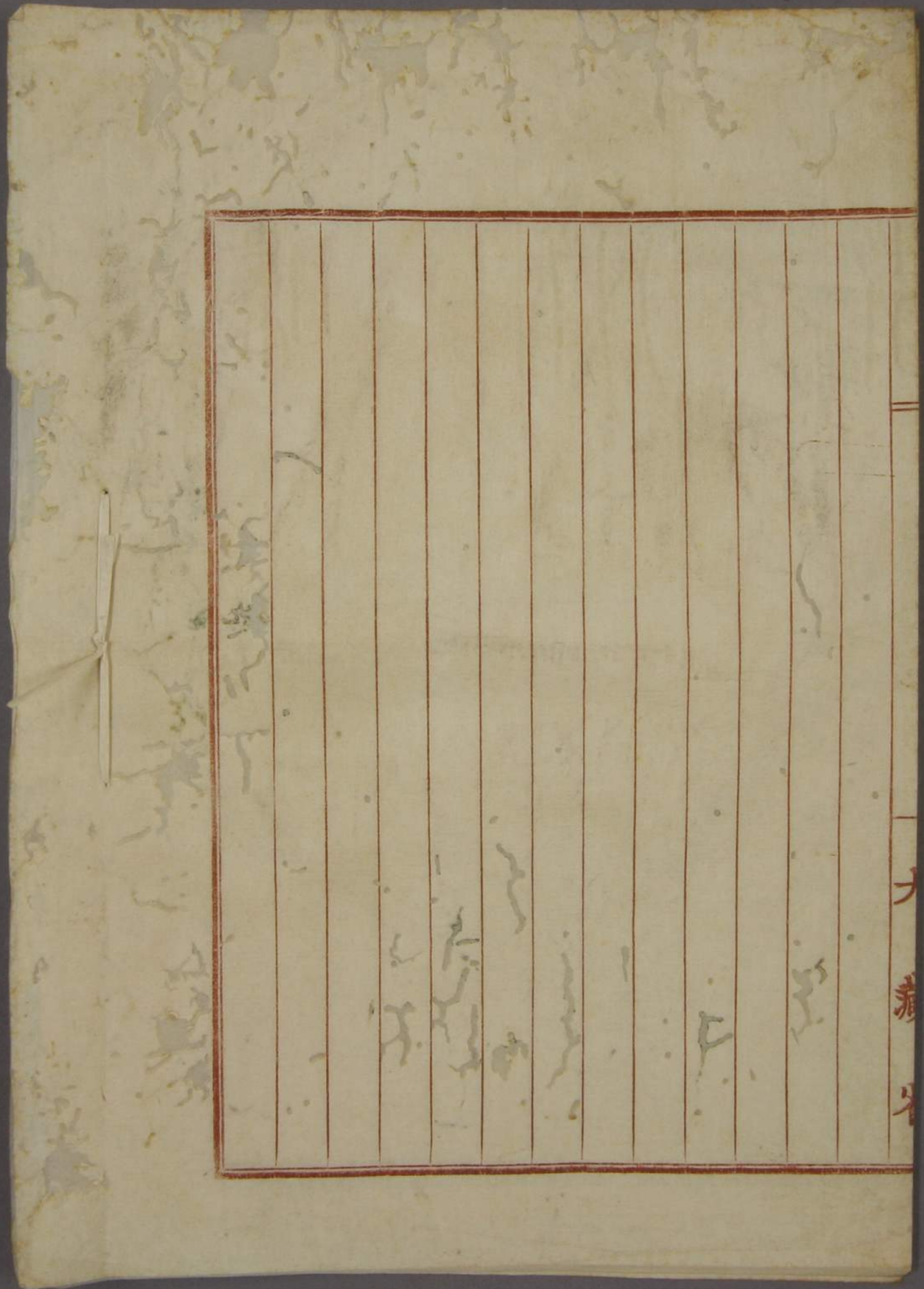
氏猶ホ或ハ純然タル惡意ニ出テ或ハ猜忌ノ念ヨリシテ漫リニ
批評ヲ下シテ之ヲ誹謗シテ諛毀スルモノナシリトス然リト
至凡ソ世上百般ノ事萬人ノ賞賛ヲ得シト欲スルモ決シテ得
ベキニアラス後令ヒ七人ノ満足ヲ得ルヲアルモ尚工録ノ三人
ノ満足ヲ得ガルカ如キヲアルヲ以テ萬人一齊ノ賞賛ヲ求メシ
ト欲スルハ到底徒勞ニ屬スレハ寧ロ之ヲ求メント勉メガルノ
昧レルニ加カガルナリ又萬が一財政上未タ完全ニ得ズシテ頗
ル欠所多シトスルモ敢テ深ク尤ムベキニ非ス何トナレハ大藏
卿閣下ハ其報告中丁寧ニ演陳シテ曰ク戊辰昔年ノ後ヲ承テ萬
般創設ノ事業未タ完整ニ及ハスレテ因循今日ニ至ル者多ク又
各官署ノ財務調査上未タ整備ヲ欠クノ憾ナキ能ハスト此ニ由
テ我輩ハ其ノ未タ完全ヲ得ザカラサルノ多故アルヲ知ルニ至
リシレナリ本年ノ度又此表ニ於テハ其條目ヲ一層精細ニ

明示セリ前年度ノ表ニ比較シテ自カラ同日ノ論ニ非サル
ト判然タリ借其歲出ノ部中ニ就テ有益無比ノ一新項ヲ設ケタ
リ是レ則テ乾涸ノ災害ニ遭逢スルヲアルモ人民ヲシテ救助ヲ
政府ニ仰カサラシメンガ為メニ人民ノ恟同儲蓄ヲ獎勵スルノ
方策ニシテ救急補助金ノ豫備ナリ又流通紙幣ヲ說明ハ報告中
ノ一大部分ヲ占メ又頗ル精密ニ涉リタリ故ニ此ノ説明ト附屬
ノ表トヲ參觀スルハ實ニ十分其詳細ヲ知ルニ足レリ又琉球
島ノ合併ニ由リ貢納ノ目ヲ以テ租稅ノ目ニ改ムルキ、其租額
ハ貢納ノ額ヨリ多ケレト新置縣ノ際諸事未タ充分ノ整理ニ至
ラザル由ヲ陳ベラレタリ今此ノ報告ノ細目ニ涉ラズ大體ニ就
テ之ヲ論スルハ我輩ハ其歲入ノ賦課法頗ル其度ヲ得毫モ毫
ヲ失フ所ナキヲ見ル歲出總算ノ如キモ亦一モ無益ニ屬シ或ハ
不正ニ係ルモノアラサルヲ信スルナリ蓋シ歲出ニ貳百五十万

山ノ増加アリト至ニ政府ノ收入上ニ於テ又之ニ相当ノ額ヲ増
レタルノミ
借初年發布ノ歳出入豫算表ハ該年度ニ入り七ヶ月ヲ過テ漸
成リ次年ニ於テハ七ヶ月ヲ出スレテ發布ノ運ビニ及リ而シテ
今ヤ定期ヲ過タス會計年度ノ初期ニ於テ完全ナル豫算表ヲ發
布ヲ見ルニ至レリ是レニ因テ之レヲ觀レハ(他事ハ暫ク措キ)此
ノ豫算表ニ就テハ大隈君ノ信ヲ守リ意ヲ注クノ厚キヲ証スル
ニ足ル蓋シ豫算表ノ編成ハ左ノミ困難ノ業ニアラスヨ言ハシ
ト欲セハ則テ言フコトヲ得ナルニアラス然レバ未ダ至ク困難
ナシト断言スルコトヲ得ナルナリ又大藏長官ハ嘗テ其困難ナル
ヲ訴ヘガレヒ亦敢テ之ヲ藏匿セザルナリ然リ而シテ君ガ今日ノ
調査ヲ以テ之ノ前日ニ比スレハ數層ノ精密ヲ加ヘ諸條目ノ區
分改正ヲ詳ラカニニエリシセハ全ク君カ尽力ノ然テシ

ムル所リ又前日ノ豫算表ハ於テ唯費用又ハ國債ノ増減ノミ
ヲ示シ其事由等ヲ示サザリシ所以ハ他ナシ枝葉ニ渉ル諸勘定
ヲ編集シテ以テ詳細ヲ知ラシムル所ノ統計法ヲ知ラザリシカ
故ナリ然ルモ今ヤ漸ク此法ヲ悟リ經驗又之ヲ助ケ豫算表編集
者ヲシテ諸勘定ノ要目ヲ明別シ互ニ相比較シ愈々詳細悉
ナラシムルヲ得ルノ点ニ達シタレハ後今ニ批評者アテテ狼藉
ノ譏毀ヲナスコトアルモ之ヲ辨破論伏スルニ難カラス夫レ斯
ル如キノ進歩ニ加フルニ發布ノ神速ナルヲ以テ是レ大藏省ノ
規矩整備シテ年ニ月ニ一定ニ歸スルヲ告ルノ明証ナリ
今ヤ世事稍ク安定ニ歸ス是時ヤ漸次財政ノ憲度ヲ改良スヘキ
好機ナリト是レ實ニ然リ而シテ平安ヲ將來ニ保チ事物ヲ前途ニ
進ムベキハ獨リ財政上ニ止ラズ其他ノ政治上ニ於テモ亦必
ズ期スベキノ望ヲ屬スベキハ信シテ疑ハザル所ナリ蓋シ各回

到ル所トシテ雲翳ノ蒼天ヲ蔽ハガルナリ今日ノ日本ノ如キ天
涯蒼々一點ノ雲翳ヲ見ニ笑ニ至幸ノ回ト謂ッ



大
藏
卷